

水産資源の持続可能な調達に向けた取り組み

持続可能な原材料の調達は、ニチレイグループが重視している取り組みのひとつです。世界の水産資源の枯渇や野生生物の絶滅の危機といった課題に直面している中、ニチレイフレッシュはWWF（世界自然保護基金）と協働で海産物の認証取得を進めるなど、長期的な視点に立った持続可能な調達に取り組んでいます。



海洋資源の現状と課題

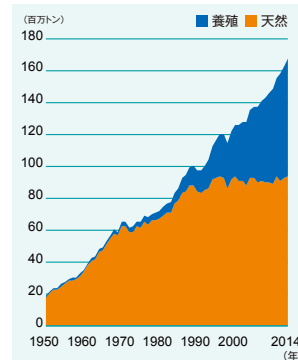
水産資源の危機的状況

魚や貝などの水産資源は、近年乱獲や生態系の破壊により再生が間に合わず、資源の枯渇が心配されています。

世界の漁獲量は、1950年から30年で約3倍に急増し水産資源のバランスは悪化。養殖の漁獲量は急増しているものの、1980年代後半以降、天然海産物の漁獲高は頭打ちとなっています。

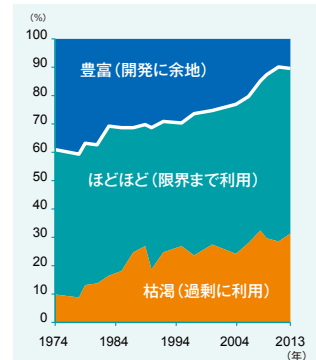
「枯渇」状態の水産資源の割合は、2013年には全体の約3割を占めるまでになっています。世界の海で資源を調達しているニチレイグループにとって、水産資源を守ることは持続可能な調達のうえで重要な取り組みと捉えています。

図1 世界の漁獲量推移



出典：FAO: 2016, The State of World Fisheries and Aquaculture 2016 p3
<http://www.fao.org/3/a-i5555e.pdf>
 許可を得て複製

図2 世界の水産資源の動向



出典：FAO: 2016, The State of World Fisheries and Aquaculture 2016 p39 をもとに作成
<http://www.fao.org/3/a-i5555e.pdf>
 許可を得て複製

パートナーの声

現場視察中の山内氏



公益財団法人
 世界自然保護基金ジャパン
 (WWF ジャパン)
 海洋水産グループ長
 山内 愛子氏

“海のエコラベル”の取得を通して海の資源と環境を守る

WWFは、世界でも特に生物の多様性が保たれている東南アジアの海域を「コーラルトライアングル」と呼んで、さまざまな環境保全活動を進めてきました。その一環として、持続可能な天然水産物の認証であるMSC^{*1}や養殖水産物の認証であるASC^{*2}の認証取得を生産者、サプライチェーンに働きかけています。初めてニチレイフレッシュさんがWWFインドネシアとカリマンタン島でマングローブの保全に取り組んでいることを知ったときは、とても心強く思いました。カリマンタンは生物多様性がとても豊かで希少なため、WWFも継続的に環境保全の取り組みを続けてきた場所だったのです。

※1 MSC：Marine Stewardship Council 持続可能な天然水産物の認証

※2 ASC：Aquaculture Stewardship Council 持続可能な養殖水産物の認証

関係者同士が共通の目標を持つことが結果につながる

ニチレイフレッシュさんと協働で推進しているのは、インドネシアの「北カリマンタン 海と森の保全プロジェクト」と中国の「黄海エコリージョン保全プロジェクト」の2つです。生産者、バイヤー、そして何より日本企業のサプライチェーンが互いに協力しながら取り組んでいるので、プロジェクトが着実に進んでいる手応えがあります。こうした取り組みは短期間ではなかなか成果が見い出せないものですが、5年後、10年後のビジョンを共に目指し、支援体制を世界に広げていけたらと考えています。



WWFとは
 人と自然が調和して生きられる未来を目指して、地球環境の悪化をくい止めるさまざまな活動を実践しています。
www.wwf.or.jp

© 1986 Panda Symbol WWF. "WWF" is a WWF Registered Trademark.

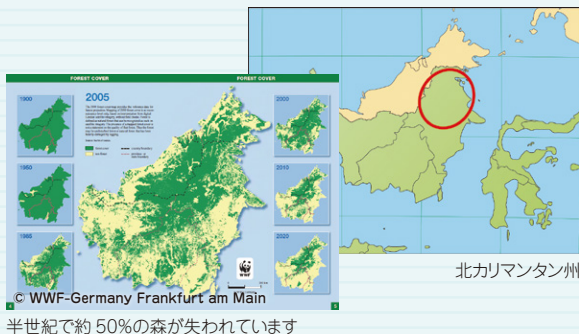
PROJECT
01

〈WWFインドネシア・WWFジャパンとの連携〉

10年超にわたる「^{いのち}生命の森プロジェクト」の取り組みとともに 「北カリマンタン 海と森の保全プロジェクト」を推進

インドネシア・北カリマンタン州が 直面している豊かな海と森の環境課題

インドネシアのカリマンタン島にある北カリマンタン州はいま、農園や植林地、えびの養殖池の開発などで深刻な自然破壊に直面しています。豊かな水と平坦な地形で養殖に最適な沿岸地域は、えびの養殖池が急増して森林やマングローブが次々に伐採されてきました。この海と森の環境が大きく変化したことにより、貴重な野生生物が絶滅の危機にさらされています。



「^{いのち}生命の森プロジェクト」を発展させ、 持続可能な海産物の認証の取得へ

ニチレイフレッシュは、マングローブの減少を危惧して、調達先のPT. Mustika Minanusa Aurora (MMA) 社および北カリマンタン州タラカン市と共同で2006年に「^{いのち}生命の森プロジェクト」を開始しました。環境負荷の低い粗放養殖えびを販売した収益の一部をMMA社の「マングローブ基金」に寄付し、植樹活動を行うなどタラカン市の生態系の保全に貢献してきました。現在はWWFインドネシア、WWFジャパンと協力し「北カリマンタン 海と森の保全プロジェクト」を通じてASC認証取得を目指した「養殖改善プロジェクト」を推進しています。



©WWF-ID M. BUDI Santosa
大きく育ったえび



ASC 認証取得を目指す商品

PROJECT
02

〈WWF中国・WWFジャパンとの連携〉

環境と水産資源の保全につながる“あさり漁業”の改善のために 「黄海エコリージョン保全プロジェクト」を積極的に支援

中国と朝鮮半島に囲まれた黄海が 直面している環境と野生生物の現状と課題

世界有数の大陸棚を持ち、沿岸に数多くの干潟が広がっていた黄海は、豊富な漁業資源に恵まれた渡り鳥の飛来地でもあります。しかし、過去50年の間に、埋め立てや干拓などの開発によって、沿岸湿地が大きく失われました。また、豊富な水産資源は乱獲によって大幅に減少してしまいました。干潟の開発は渡り鳥の飛来にも影響があり、生物多様性の面でも大きな問題となっています。



調達先企業の“あさり漁業改善プロジェクト”への 支援を通じて環境と水産資源の保全に貢献

ニチレイフレッシュは、WWF中国およびWWFジャパンと協力して「黄海エコリージョン保全プロジェクト」を展開しています。^{おつりょくこう}鴨緑江河口沿岸域で、手掘りまたは低圧ポンプを使って収穫するあさりの「漁業改善プロジェクト」への支援を行うことで、環境と水産資源の保全に貢献しています。さらに、プロジェクトを通じてMSCの認証取得を目指すとともに、黄海の生物多様性保全にも取り組んでいます。



MSC 認証取得を目指す商品